

読めば読むほど新発見



久礼田古文書教室の皆さん

に
こ
こ
ら
い
ふ

174



久礼田古文書教室は、久礼田史談会が毎月第2・第4火曜日の午前9時半から11時半に開いている歴史教室です。メンバーは、60代から80代までの合計17人が参加しています。

史談会の中で、古文書の文字を読みたいという声が出たことをきっかけに、歴史家の松岡司さんに講師を依頼して、平成20年10月から教室を始めました。当初は3年ぐらい続けばいいと思っていたのですが、メンバーの熱気は冷め

勢、見習いたいです！

授業が始まる前から、皆さんが古文書の文字の読み方を熱心に教え合っている様子を見て、心から勉強を楽しんでいるんだなと感じました。その姿勢、見習いたいです！

ず、現在7年目に入りました。教室で勉強している文書は、主に武家に関係するものが多いですが、放送中の大河ドラマに関連する文書や、龍馬の手紙を教材に使うこともあります。現地視察もしていて、五台山の麓にある護国神社では、戊辰戦争で戦利品として押収した特大の刀を見ることができましたし、佐川町の青源寺では、古文書の実物を使った勉強会もさせてもらいました。

古文書の魅力は、読めば読むほど新しい発見があるところです。あと、古い棟札や石碑など、古文書以外に書かれている文字が読めるのは大歓迎なので、ぜひ見に来てください。

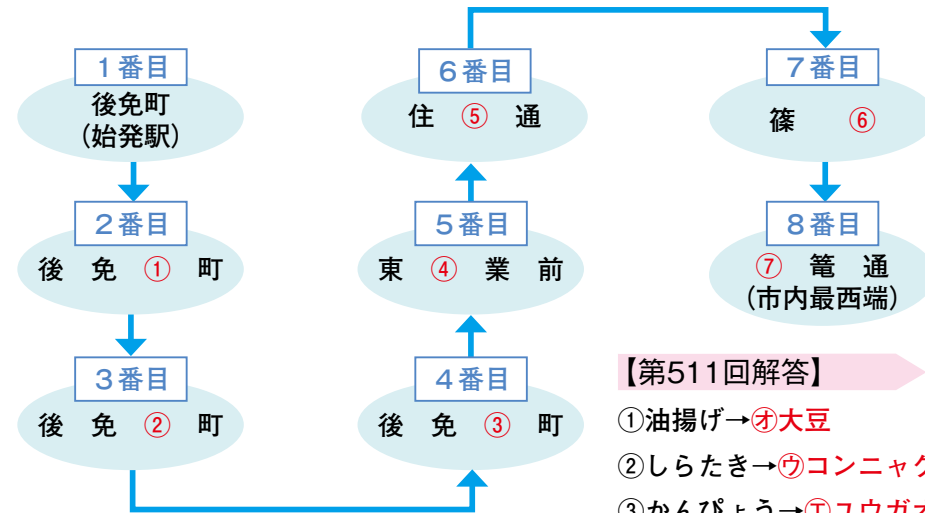


市民からのお便り

(親子クイズ) 食品の勉強になりました。次回も楽しみにしています。

親子クイズ 512

Q 南国市には、明治37年に高知県で走り始めた、日本最古の路面電車が走っています。東の終着駅で、始発駅でもある後免町駅を出発して、西へ向かうときの電停の名前を、次の①～⑦を埋めて完成してください。



■応募締切／1月14日(水)必着
■あて先／〒783-8501 南国市大堀甲2301 南国市企画課「親子クイズ」係
※はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

【第511回解答】

- ①油揚げ→④大豆
- ②しらたき→⑦コンニャク芋
- ③かんぴょう→①ユウガオ
- ④白玉粉→⑦もち米
- ⑤麴(ふ)→①小麦

【第511回当選者】

- 井上 美恵 (緑ヶ丘)
- 野村 悦子 (物部)
- 濱田 政子 (里改田)
- 町田 佳世 (緑ヶ丘)
- 吉田 ひびき (小籠)

★応募総数／53通 ★正解率／94%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

市民からのお便り

(親子クイズ) クイズの答えより「麴」の書き順に迷いました。

なんこく歴史散歩 第26回

土佐では、太閤検地の一環として長宗我部氏によって検地が行われ、その記録が「長宗我部地検帳」として伝わっています。土佐一国全体の史料が残されており、戦国時代末期の当時の状況を知る上で非常に貴重です。「長宗我部地検帳」を基にした歴史研究は多岐にわたっており、岡豊城の東麓に城下町が広がっていたことも、そうした研究により明らかになっています。

「岡豊城下町」ー長宗我部地検帳から見る街並みー



岡豊城から岡豊城下町を望む

へと発展したことで、長宗我部氏の岡豊文化が花開いていたのではないのでしょうか。

※お問い合わせは生涯学習課文化財係(☎880・6569)まで

47 人権学習シリーズ

「その人らしさと寄り添うために」

域をつくる十か年」のキャンペーンが始まりました。「認知症サポーター」の養成はこのキャンペーンの一環です。

認知症サポーター養成講座を受講した人を認知症サポーターと呼びます。何か特別なことをする人ではありません。講座を通じて認知症についての正しい知識を習得し、駅や路上などで困っている人に声をかけるなど、自分のできる範囲で認知症の人やその家族を応援するのが認知症サポーターです。サポーターの数はこの10年で500万人を超え、目標を達成しました。今後は、社会全体で認知症の人とその家族を支え、サポーターも行政も一緒に暮らして、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつなげるのが求められています。

※このシリーズは、あなたとあなたの周りにいる人の間にあったかなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

※お問い合わせは人権啓発広報委員会(☎880・6569)まで